

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月5日
【四半期会計期間】	第46期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	株式会社ソフトクリエイイトホールディングス （旧会社名 株式会社ソフトクリエイイト）
【英訳名】	SOFTCREATE HOLDINGS CORP. （旧英訳名 Softcreate Co., Ltd.） （注）平成24年6月22日開催の定時株主総会の決議により、平成24年10月1日付で会社名及び英訳名を上記のとおり変更いたしました。
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長執行役員 林 宗治
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区渋谷二丁目15番1号 （注）平成24年10月1日付で本店所在地は、東京都渋谷区渋谷二丁目22番3号から上記のとおり移転いたしました。
【電話番号】	03-3486-0606(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営管理部長 佐藤 淳
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区渋谷二丁目15番1号
【電話番号】	03-3486-0606(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営管理部長 佐藤 淳
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第45期 第2四半期 連結累計期間	第46期 第2四半期 連結累計期間	第45期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高 (千円)	4,347,568	4,796,651	8,891,820
経常利益 (千円)	495,131	588,194	1,113,239
四半期(当期)純利益 (千円)	286,415	315,871	553,531
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	280,312	316,080	637,318
純資産額 (千円)	4,461,310	4,977,735	4,741,393
総資産額 (千円)	6,189,019	7,165,615	6,815,478
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	68.02	74.51	131.19
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	66.70	73.28	128.82
自己資本比率 (%)	70.2	67.6	67.6
営業活動によるキャッシュ・ フロー (千円)	329,705	423,220	1,015,500
投資活動によるキャッシュ・ フロー (千円)	306,316	1,320,508	461,635
財務活動によるキャッシュ・ フロー (千円)	113,438	78,165	190,146
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	1,034,033	3,167,101	1,487,802

回次	第45期 第2四半期 連結会計期間	第46期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	52.54	40.81

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用関連会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な連結子会社及び持分法適用関連会社における異動もありません。

なお、当社は純粋持株会社体制の移行に伴い、平成24年10月1日付で当社のECソリューション事業を新たに設立した株式会社ecbeing（当社100%子会社）に、システムインテグレーション事業及び物品販売事業を新たに設立した株式会社ソフトクリエイト（当社100%子会社）に承継いたしました。

また、当社は同日付で「株式会社ソフトクリエイト」から「株式会社ソフトクリエイトホールディングス」に商号変更するとともに、その事業目的を純粋持株会社体制移行後の事業に合わせて変更しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用関連会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による停滞を脱し回復の途上にあつたものの、長引く円高や欧州債務危機を背景とした金融市場の動揺、中国経済の変調等、景気の先行きに対する警戒感は依然として払拭できない状況にあります。

当社グループが属するIT業界におきましては、EC市場の拡大を背景としたECサイト構築需要の拡大やクラウドサービスの浸透、スマートフォンやタブレット端末の普及等の需要に支えられ、企業のIT投資は慎重さを伴いながらも堅調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループの中核事業であるECサイト構築パッケージ「ecbeing」を活用したECソリューション事業の業績拡大に注力した結果、ECソリューション事業売上高の伸長により、売上高は47億96百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は5億66百万円（同16.7%増）、経常利益は5億88百万円（同18.8%増）、四半期純利益は3億15百万円（同10.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ECソリューション事業

ECソリューション事業は、ECサイト構築パッケージ「ecbeing」のカスタマイズ及び保守の売上高が堅調に伸長したことに加え、プロモーション等の付加価値サービスの売上高が伸長したことにより、売上高は22億17百万円（前年同期比12.3%増）、セグメント利益は6億36百万円（同29.5%増）となりました。

#### システムインテグレーション事業

システムインテグレーション事業は、プロダクト販売が伸長したことに加え、ネットワーク構築売上高の伸長により、売上高は10億8百万円（前年同期比7.0%増）となったものの、セグメント利益は受託開発利益の減少により2億89百万円（同16.2%減）となりました。

#### 物品販売事業

物品販売事業は、パソコン等のリプレイス需要により、売上高は15億70百万円（前年同期比9.8%増）となったものの、セグメント利益は人件費等の増加により、23百万円（同45.3%減）となりました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

## 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、4億23百万円（前年同期は3億29百万円の獲得）となりました。これは、主に法人税等の支払が1億88百万円、仕入債務の減少が1億8百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が5億38百万円、減価償却費が1億27百万円、未払金の増加が49百万円あったこと等によるものであります。

## 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果得られた資金は、13億20百万円（前年同期は3億6百万円の使用）となりました。これは、主に定期預金の預入による支出が3億円、敷金及び保証金の差入による支出が2億35百万円、無形固定資産の取得による支出が1億61百万円あったものの、定期預金の払戻による収入が20億50百万円あったこと等によるものであります。

## 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、78百万円（前年同期は1億13百万円の使用）となりました。これは、主に配当金の支払が84百万円あったこと等によるものであります。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題に重要な変更はありません。

## (4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は4百万円であります。

## (5) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第2四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しについての重要な変更はありません。

## (6) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

## 資産の変動について

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は71億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億50百万円の増加となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が45百万円減少したものの、有形・無形固定資産の増加が1億82百万円、本社移転に伴い敷金保証金の差入による増加が2億35百万円あったこと等によるものであります。

## 負債の変動について

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は21億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億13百万円の増加となりました。これは、主に買掛金が1億8百万円減少したものの、未払法人税等が32百万円、賞与引当金が15百万円、本社移転に伴い未払金が1億96百万円増加したこと等によるものであります。

## 純資産の変動について

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は49億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億36百万円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が2億29百万円増加したこと等によるものであります。

## (7) 経営者の問題認識と今後の方針について

当第2四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した経営者の問題認識と今後の方針についての重要な変更はありません。

## 第3【提出会社の状況】

## 1【株式等の状況】

## (1)【株式の総数等】

## 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,000,000
計	17,000,000

## 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成24年11月5日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協 会名	内容
普通株式	4,537,713	4,537,713	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	4,537,713	4,537,713		

(注) 提出日現在の発行数には、平成24年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

## (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

## (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

## (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日 (注)	3,600	4,537,713	583	845,353	579	875,617

(注) 資本金及び資本準備金の増加は、新株予約権の行使による増加であります。

## (6)【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
林 宗治	東京都渋谷区	536,838	11.83
林 勝	東京都渋谷区	474,320	10.45
林 雅也	東京都渋谷区	431,055	9.49
有限会社ティーオーシステム	東京都渋谷区神宮前3-15-24-201	219,290	4.83
株式会社オービックビジネスコンサル タント	東京都新宿区西新宿6-8-1	215,300	4.74
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (常任代理人株式会社三菱東京UFJ 銀行)	82 DEVONSHIRE ST BOSTON MASSACHUSETTS 02109360582 (東京都千代田区丸の内2-7-1)	110,500	2.43
ソフトクリエイト従業員持株会	東京都渋谷区渋谷2-22-3	76,010	1.67
MELLON BANK, N.A. TREATY CLIENT OMNIBUS (常任代理人株式会社三菱東京UFJ 銀行)	ONE MELLON BANK CENTER, PITTSBURGH, PENNSYLVANIA (東京都千代田区丸の内2-7-1)	50,000	1.10
日本マスタートラスト信託銀行株式会 社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	44,100	0.97
林 恒雄	神奈川県横浜市港北区	41,250	0.90
計		2,198,663	48.45

(注) 1 株式総数に対する所有株式数の割合は、少数点以下第3位を切り捨てしております。

2 ソフトクリエイト従業員持株会は、平成24年10月1日付でソフトクリエイトホールディングス従業員持株会に名称変更しております。

3 ソフトクリエイト従業員持株会の住所は、平成24年10月1日付で本社移転により東京都渋谷区渋谷2-15-1に変更しております。

4 自己株式293,164株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合6.46%)を保有しておりますが、大株主の状況から除外しております。

5 上記日本マスタートラスト信託銀行株式会社の所有株式数44,100株は信託業務に係る株式であります。

## (7)【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 293,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,243,000	42,430	
単元未満株式	普通株式 1,613		
発行済株式総数	4,537,713		
総株主の議決権		42,430	

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、自己株式64株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ソフトクリエイト	東京都渋谷区渋谷2-22-3	293,100		293,100	6.46
計		293,100		293,100	6.46

(注)1 株式会社ソフトクリエイトは、平成24年10月1日付で株式会社ソフトクリエイトホールディングスに商号変更しております。

2 株式会社ソフトクリエイトの住所は、平成24年10月1日付で本社移転により東京都渋谷区渋谷2-15-1に変更しております。

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,537,802	2,653,316
受取手形及び売掛金	1,666,067	1,620,692
有価証券	-	614,618
商品	109,448	112,413
未成業務支出金	70,560	150,219
その他	246,751	438,379
貸倒引当金	2,321	926
流動資産合計	5,628,308	5,588,712
固定資産		
有形固定資産	198,253	300,533
無形固定資産	336,059	416,484
投資その他の資産		
投資有価証券	242,476	233,872
その他	421,907	637,539
貸倒引当金	11,527	11,527
投資その他の資産合計	652,856	859,885
固定資産合計	1,187,170	1,576,902
資産合計	6,815,478	7,165,615
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	877,625	768,735
未払法人税等	195,765	228,639
賞与引当金	198,807	213,981
工事損失引当金	-	4,558
その他	541,092	701,202
流動負債合計	1,813,290	1,917,117
固定負債		
退職給付引当金	122,015	129,783
役員退職慰労引当金	138,779	140,979
固定負債合計	260,794	270,762
負債合計	2,074,085	2,187,879
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	844,624	845,353
資本剰余金	902,035	902,488
利益剰余金	3,160,591	3,390,444
自己株式	296,792	290,395
株主資本合計	4,610,459	4,847,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176	3,911
その他の包括利益累計額合計	176	3,911
新株予約権	17,371	16,074
少数株主持分	113,738	117,682
純資産合計	4,741,393	4,977,735
負債純資産合計	6,815,478	7,165,615

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	4,347,568	4,796,651
売上原価	2,982,960	3,268,019
売上総利益	1,364,608	1,528,632
販売費及び一般管理費	1 879,021	1 961,867
営業利益	485,586	566,765
営業外収益		
受取利息	5,818	4,140
受取配当金	542	278
受取手数料	5,600	2,189
為替差益	-	13,343
その他	1,152	2,213
営業外収益合計	13,113	22,165
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	3,108	-
持分法による投資損失	-	735
その他	460	-
営業外費用合計	3,568	735
経常利益	495,131	588,194
特別利益		
投資有価証券売却益	-	148
固定資産売却益	14,594	-
新株予約権戻入益	-	94
特別利益合計	14,594	242
特別損失		
投資有価証券売却損	1,408	-
投資有価証券評価損	4,807	2,103
固定資産除却損	-	16,257
会員権評価損	-	11,821
事務所移転費用	350	19,416
特別損失合計	6,566	49,598
税金等調整前四半期純利益	503,159	538,838
法人税、住民税及び事業税	221,998	221,072
法人税等調整額	14,181	2,049
法人税等合計	207,816	219,023
少数株主損益調整前四半期純利益	295,343	319,815
少数株主利益	8,928	3,944
四半期純利益	286,415	315,871

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	295,343	319,815
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	15,031	3,735
その他の包括利益合計	15,031	3,735
四半期包括利益	280,312	316,080
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	271,773	312,136
少数株主に係る四半期包括利益	8,539	3,944

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	503,159	538,838
減価償却費	96,948	127,052
会員権償却	75	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	5,746	1,394
賞与引当金の増減額(は減少)	43,249	15,174
工事損失引当金の増減額(は減少)	-	4,558
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,254	7,767
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,884	2,200
受取利息及び受取配当金	6,360	4,419
株式報酬費用	3,696	-
有形固定資産売却損益(は益)	14,594	-
固定資産除却損	-	16,257
投資有価証券売却損益(は益)	1,408	148
投資有価証券評価損益(は益)	4,807	2,103
為替差損益(は益)	-	13,735
会員権評価損	-	11,821
持分法による投資損益(は益)	-	735
新株予約権戻入益	-	94
売上債権の増減額(は増加)	250,079	45,374
たな卸資産の増減額(は増加)	6,837	82,224
仕入債務の増減額(は減少)	223,321	108,889
前受金の増減額(は減少)	26,678	31,139
未払金の増減額(は減少)	30,767	49,351
破産更生債権等の増減額(は増加)	11,048	-
その他	14,133	27,105
小計	583,565	606,295
利息及び配当金の受取額	2,531	5,347
法人税等の支払額	256,391	188,422
営業活動によるキャッシュ・フロー	329,705	423,220
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	1,250,000	300,000
定期預金の払戻による収入	1,100,000	2,050,000
有形固定資産の取得による支出	60,623	20,086
無形固定資産の取得による支出	111,675	161,973
有形固定資産の売却による収入	33,275	-
投資有価証券の取得による支出	299,369	45,480
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	298,341	45,628
事務所移転による支出	-	19,416
貸付けによる支出	300	400
貸付金の回収による収入	3,576	1,506
敷金及び保証金の差入による支出	19,690	235,784
敷金の回収による収入	150	6,514
投資活動によるキャッシュ・フロー	306,316	1,320,508

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	2,034	1,453
ストックオプションの行使による収入	10,381	4,921
配当金の支払額	125,854	84,540
財務活動によるキャッシュ・フロー	113,438	78,165
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	13,735
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	90,049	1,679,298
現金及び現金同等物の期首残高	1,124,083	1,487,802
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,034,033	3,167,101

**【継続企業の前提に関する事項】**

該当事項はありません。

**【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】**

該当事項はありません。

**【会計方針の変更】**

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

**【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】**

該当事項はありません。

**【財政状態、経営成績又はキャッシュ・フローの状況に関する事項で、当該企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の判断に影響を与えると認められる重要なもの】**

該当事項はありません。

**【追加情報】**

該当事項はありません。

## 【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給与手当	328,420千円	383,766千円
賞与	104,766	88,272
役員退職慰労引当金繰入額	11,550	14,050
退職給付費用	12,434	27,167
貸倒引当金繰入額	3,098	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金	2,584,033千円	2,653,316千円
預入期間が3か月超の定期預金	1,550,000	300,000
流動資産その他(預け金)		199,165
有価証券(MMF)		614,618
現金及び現金同等物	1,034,033	3,167,101



(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

## 1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月9日 取締役会	普通株式	126,152	30.00	平成23年3月31日	平成23年6月9日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月1日 取締役会	普通株式	84,497	20.00	平成23年9月30日	平成23年12月2日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月9日 取締役会	普通株式	84,724	20.00	平成24年3月31日	平成24年6月8日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月1日 取締役会	普通株式	84,890	20.00	平成24年9月30日	平成24年12月4日	利益剰余金

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ECソリューション事業	システムイン テグレーション事業	物品販売 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,974,756	942,851	1,429,960	4,347,568		4,347,568
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,402		1,646	4,049	4,049	
計	1,977,159	942,851	1,431,607	4,351,618	4,049	4,347,568
セグメント利益	491,371	345,042	42,151	878,564	383,433	495,131

(注)1 セグメント利益の調整額 383,433千円は、セグメント間取引20,400千円、その他調整額10,462千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 414,296千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ECソリューション事業	システムイン テグレーション事業	物品販売 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,217,659	1,008,756	1,570,236	4,796,651		4,796,651
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,623	4,800	1,492	9,915	9,915	
計	2,221,282	1,013,556	1,571,728	4,806,567	9,915	4,796,651
セグメント利益	636,323	289,020	23,049	948,393	360,198	588,194

(注)1 セグメント利益の調整額 360,198千円は、セグメント間取引15,600千円、その他調整額22,805千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 398,603千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	68円2銭	74円51銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	286,415	315,871
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	286,415	315,871
普通株式の期中平均株式数(株)	4,210,805	4,239,263
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	66円70銭	73円28銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	83,042	70,970
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式について、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

第46期(平成24年4月1日から平成25年3月31日)中間配当については、平成24年11月1日開催の取締役会において、平成24年9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 84,890千円  
 1株当たりの金額 20円00銭  
 支払請求権の効力発生日又は支払開始日 平成24年12月4日

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月5日

株式会社ソフトクリエイトホールディングス  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 坂田 純孝 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 原口 清治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ソフトクリエイトホールディングス（旧会社名 株式会社ソフトクリエイト）の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ソフトクリエイトホールディングス（旧会社名 株式会社ソフトクリエイト）及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。